

# 仙台市議会報告

2021年春号  
〈令和3年第1回定例会報告〉

## 野田ゆずる 議会レポート

■発行/仙台市議会議員 野田ゆずる 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103 Tel&Fax 022(739)9630

■ご意見・ご要望がありましたら上記までお気軽にお寄せください。

今回の議会レポートは、令和3年第1回定例会の報告をさせていただきます。今定例会では、令和3年度一般会計当初予算案など、議案65件、意見書1件を審議・可決致しました。一般会計当初予算は、5764億2400万円（昨年比106.5%）となりました。

また、議員報酬と市長、市幹部の給与を削減する条例改正案を追加提出いたしました。

今回のレポートは、一般質問で登壇した際の質問と答弁の要点、予算等審査特別委員会での質問と答弁の要点、会派自由民主党代表質疑の質問項目等を記載させていただきました。是非、一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。



仙台市議会議員 野田 譲

### 令和3年第1回定例会 野田ゆずる一般質問より (抜粋)

#### 震災翌年度の財政状況の比較について

**野田** 震災翌年の当初予算も大変厳しい状況であった。財政状況は震災翌年を思い起こさせる厳しいものだ。当時と比較してどのように認識しているのか。

**答弁** 震災後の予算でも、市税収入が大幅に減少する一方、財政需要が増加する厳しい状況であった。地方財政の充実に向け国へ強く働きかけを続けるとともに、市税収入の早期回復も目指した、地域経済の活性化、積極的な税源涵養、事業の見直しなど、あらゆる方策を講じ持続可能な財政運営につなげていきたい。

#### 行財政改革への認識と今後の取り組みについて

**野田** 人口、環境、財政など、様々な面において制約が高まる時代であり、発想の転換と創意工夫による柔軟な施策展開が求められる。新たな時代を切り開いていく気概を持って市政運営に携わって欲しい、如何か。

**答弁** 持続可能な都市経営を実現するためには行革待ったなしとの覚悟を持って見直しを徹底し、

限られた経営資源を最大限有効活用できるよう、一丸となって進めていく。

#### 公共施設整備における官民連携の視点について

**野田** 公共施設の建て替え等は、財政負担の軽減、平準化を意識し、官民連携の視点を持って、検討・推進していくことが重要と考える。如何か。

**答弁** 財政制約が強まる中、将来にわたり持続的に提供するためには、民間活力の導入は重要な視点の一つと認識している。老朽施設の更新時などの整備手法についても検討することとしている。

#### 基本計画の都市づくりのポイントについて

**野田** コロナ禍の発生という想定外の事態もあるが、都市づくりの視点、今後の計画案の最大のポイントはどこにあるのか、まず市長の考えを伺う。

**答弁** 激化する都市間競争を見据えて、復興により遅れていた都心の機能強化に取り組む事が重要と考え、都心創生プロジェクトを掲げた。

魅力的な環境を整備するため、老朽化建築物の建て替えや、リノベーションを進め、エリアごとの特性を生かした魅力づくりや公共空間の新たな利活用などにより、まちの回遊性向上を図っていく。



**老朽建築物の更新について**

**野田** 老朽化建築物の更新をどのように進めていくつもりか、今後の取り組みは。

**答弁** 東北の中核都市として発展していくためには、競争力のあるビジネス環境を構築していくことが重要だ。

中小ビルの建て替えの一助となる事業モデルを作成し、ビルオーナー向けの建て替え促進ツールを活用いただくほか、商工会議所とも連携をし、建て替えやテナントに関するビルオーナー向けの総合的な相談体制を構築していく。

**野田** 旧さくらの百貨店跡地の開発の進捗状況はどうなっているのか、また仙台市はどのように関わっているのか。

**答弁** 令和2年6月より権利者間において、周辺も含めたまちづくりや建て替えに関わる勉強会を継続的に開催しており、本市もアドバイザーとして参加している。新年度には次のステップとなるまちづくり協議会の設立を目指しており、いち早く事業計画の具体化が進むよう検討を強く後押ししていく。



●7年後にはどういった仙台駅西口になるのか

**野田** 駅前再開発については、以前にも3回ほど質問しているが、市民からも、仙台を訪れる方からも、あの状況はいつ変わるのかと質問される。概ね何年後になるかご答弁できないものか。

**答弁** 想定スケジュールによると、あと7年ほど要するものと示されており、我々としてもその程度の時間を要するのではないかと捉えている。

**職員の育成について**

**野田** 新たな時代を見据え職員の育成にどのような方針で臨もうとしているのか。

従来の枠組みにとらわれず、困難な課題にも積極的に挑戦する気概を持つ職員の育成が重要と考えるが如何か。

**答弁** 市職員として、使命感を持ち、様々な方々と協働しながら複雑な課題にも果敢に挑戦をする、このことを目指すべき職員像として掲げ、特に若手職員の育成や職場における取り組みを重視していく。

また、縦割り意識を排し、市役所の総合力が発揮できるよう、全庁一丸となって新たな時代を見据え取り組んでいく。

**泉区役所の建て替えについて**

**野田** 市民にとってより身近な区庁舎は、市民協働の視点での庁舎機能が必要と考えるが、如何か。

**答弁** 歴史的な経緯やまちづくりへの思い、現在の立地環境などを十分に踏まえ、利便性の向上や財政負担の軽減を目指す本市と、ビジネスの創出等を意図する民間側の意識を合わせていく必要があると認識している。

**野田** 泉区役所建て替えを、課題改善さらには区全体の再生に繋げ、実りあるものとするため、今後どのように進めていくのか市長の考えを伺う。

**答弁** 地域づくりの方向性の特徴として、安心、賑わい、癒し、定住というキーワードを4つの柱に織り込み、さらに住み良い泉区を目指していくこととした。

**野田** 最終的な実施方針をどのようなものとしていく考えなのか、パブリックコメントの結果と合わせて伺う。

**答弁** 民間の力を生かした取り組みを通じ、区役所庁舎の建て替えを契機として、交通課題の解消や、さらなる賑わいの創出などに取り組み、泉中央地区のみならず、泉区全体の活性化につなげるよう、市民の皆様や事業所の方々のご意見を丁寧に向いながら進めていきたい。

パブリックコメントでは、環境に配慮した建物を希望するや、さらなる交通環境の改善、事業手法など84件のご意見があった。

**東北学院大学の移転による影響について**

**野田** 多くの学生を擁する東北学院大学泉キャンパスの移転が決まっており、泉区の活力低下が懸念される。移転に関する現在の状況と、見込まれる影響、今後の対応について伺う。

**答弁** キャンパス周辺に居住する学生の減少が見込まれ、アパートなどの不動産への影響や、アルバイトの働き手確保の問題、バス利用者の減少などといった懸念が表面化してくるものと認識している。



●移転が気がかりな東北学院泉キャンパス

**泉ヶ岳の有効活用について**

**野田** 泉区西部には泉ヶ岳をはじめとした雄大な自然環境があり、登山やキャンプ、スキーをはじめ四季折々で表情が変化する大自然に触れる場として、多くの市民に親しまれている。泉ヶ岳という仙台市のシンボルともいえるポテンシャルをもっと有効に活用していくべきと考えるが如何か。

**答弁** 今般、泉ヶ岳駐車場の東側隣接地で計画されているキャンプ場等の整備に

ついて、温浴施設も備え、コロナ禍でアウトドアが注目される中、新たな集客が見込まれるものと期待している。

今後、計画を詳細に伺いながら本市のシンボルでもある泉ヶ岳のブランド力の向上にも取り組んでいきたい。



●泉ヶ岳の有効活用も問う

**令和3年第1回定例会 予算等審査特別委員会 野田ゆずる質問より(抜粋)****地下鉄沿線のまちづくりについて**

**野田** 都市計画費、地下鉄沿線にぎわいまちづくり推進事業の目的と事業概要について伺う。

**答弁** 新たな魅力と活力を備えた、暮らしやすい機能集約型の都市づくりのため、地下鉄沿線の地域特性を生かしたまちづくりを推進することを目的としている。

新年度は、具体的な方策を検討する予算として580万円余を計上し、あわせて、地下鉄の利用促進に向けて沿線の魅力を広く市民や来訪者に発信するためのリーフレット等の作成費用として58万円余を計上している。

**荒井駅北地区の区画整理事業について**

**野田** 東西線は沿線整備が一定程度進み、荒井駅では荒井東、南、西地区にて土地区画整理事業により新たなまちがつけられた、が、残念なことに北側は全く開発が進んでいない。荒井駅北地区についての取り組みと現在の状況は如何か。

**答弁** 難しい方もおられて、うまくいきそうではないような繰り返しをしている。土地所有者からなる世話人会が新市街地の形成に向けた活動を継続しており、地元の合意形成を図れるよう適宜情報交換等を行っている。

まちづくりに関して再度トライしていきたい。

**泉中央地区の商業地域の拡大について**

**野田** 機能集約型の都市づくりを進めるためには、都市軸となる地下鉄沿線の人口増加に向けた取り組みが必要だ。泉区は唯一人口減少が進み、高齢化率も高く今後も同じ傾向が続く。

泉中央地区の用途地域の変更を行うことで、土地の高度利用に取り組み人口を増やし、税収を上げ、まちに還元してい

くことでさらなるにぎわい創出ができることを考える。用途地域の変更の手続についてどのような方法があるのか。

**答弁** 変更を行う際の手続きは、地域の方々や土地の所有者とまちづくりの方向性を共有し、合意形成を図りながら都市計画の変更案を作成し、説明会の開催や縦覧を経て、都市計画審議会に付議した後に都市計画の変更を行う。

**野田** 経済状況の情勢によって様々な取組がなされるということは理解をする。仙台は住んでみたい都市の上位に常に出てくる都市であるから、伸び代はまだある都市だ。

行政側から地権者に対してその用途地域の変更を求めるのか、地権者からくるのを待ってやろうとしているのか。直近でそういう動きとかあったかどうかお聞かせください。

**答弁** 泉中央地区においては、昭和60年に商業地域を指定し、その後、泉中央駅まで南北線が延伸された翌年の平成5年に商業地域を拡大、その後、大きな見直しについては行っていない。

**野田** 仙台にはまだ人口を増やす余地がこの南北線の中でも残っていると思う。用途地域の変更等、行政側から地権者に求めていくことも必要だし、地権者にも声を上げてもらいやすい環境をつくっていくのも大事だと思うが如何か。

このエリアの重要性というものはさらに増すものと考えている。



●地下鉄南北線 泉中央駅前

人口の推移など社会環境の変化とが住環境や交通環境への影響等も踏まえながら、必要に応じて都市計画の見直しを行い、広域拠点にふさわしい都市機能の集積、充実を図っていききたい。

**野田** 7年後を私は非常に楽しみにしている。新庁舎も出来、駅前も再開発される。そして、荒井駅や東西線の沿線整備も進む。住んでみたい都市上位にある仙台が、人口を増やすまちになり得る。

手をかけなければこのまま人口は減っていく。増える要素への取り組みを、市長がリーダーシップを取り、二役も含めて進めていく、そういった意気込みが職員に伝わるような答弁をお聞きしたい。

**答弁** 今般、基本計画の中で示した、仙台がより国内外から選ばれるまちになるためには、委員がご指摘の都市をどのよ

うに形づくっていくか、大変重要である。仙台の駅東、駅西地区、それからまた東西線の荒井地区など、市役所一丸となって選ばれるまちづくり、魅力づくりに磨きをかける取り組みを進めていきたい。

**街路樹剪定・公園の維持管理について**

**野田** 街路樹の剪定、除草、そして公園の管理、この百年の杜事業で年間100億円近い費用が出ていく。非常にかかり過ぎているという印象を持つ。

必要などころに樹木を植えるのは、大賛成だが、1,480もある公園の維持管理、そして管理方法など、考えなければならない。

年次計画の中で、例えば、この公園はアンツーカー仕上げで、健康遊具とベンチだけにしようとか、毎年除草費にお金がかかるのを長期的に考えればそういうことをしなくてもいいような公園を造り上げてても良いのではないかと。如何か。

**答弁** 近年は管理の時代ということで、その質をいかに維持して高めるかという観点が非常に重要になってきている。管理費用を低減する工夫は、我々も模索している。中には草が生えないような公園に整備したところもある。

今後、管理費用の低減、コストのかからない整備といったものを踏まえて整備が進むように取り組んでいきたい。



○コストのかからない維持管理を

**声をお聞かせください**

仙台市や地域に思う事または、行政や国に対して思う事など皆様のお考えをお聞かせください。下記のハガキにお書きいただき、お近くのポストにご投函お願い致します。

郵便はがき

9 8 1 - 3 1 9 0

料金受取人払郵便

局 承 認  
36

(受取人)  
泉区上谷刈3丁目7-29  
D棟103

仙台市議会議員(泉区)

**野田 ゆずる** 行

差し出し有効期間  
2021年4月  
30日まで

切手不要

あなたの声をお聞かせくださいお聞かせください



お名前	フリガナ	生年月日
住所	〒□□□□□□	
電話番号	( )	ご職業
意見	お住いの地域のお困り事、普段から疑問等に思うことなど何でもかまいません。仙台市政へのご要望などがありましたらお気軽にご記入お願いします。	
必要事項	その他	

皆様からご記入いただきました個人データは「野田ゆずる議会報告」等の連絡などに使用しそれ以外の使用はいたしません。

**【会派自由民主党代表質疑 主な質問項目】**

- 施政方針について
  - 新型コロナウイルス感染症対策
  - ワクチン接種
  - 経済対策
  - 新年度の組織改正
  - 救急体制
  - 震災10年の復興の総括
  - 基本計画の確実な実行
  - 環境基本計画
  - まちづくりに関する諸施策
  - 教育施策の推進
  - 子育て支援
  - 高齢者施策と地域づくりパートナープロジェクト
  - 財政運営及び市役所経営
  - デジタルの推進
  - 市長任期の総括 等、
- 多岐にわたり質疑が行われました。



経済とコロナ